

1) 訪問実施結果

(1) 訪問状況

(単位:人)

年度	総 数		訪問調査	訪問診療 依頼数	訪問口腔 衛生指導	通院介助 ・補助	訪問調査の依頼元		
	実数	延数					居宅介護 支援事業所	地域包括 支援センター	その他
H30	48	137	26	4	108	3	17	4	5
R1	41	122	20	6	102	0	10	9	1
R2	33	106	16	7	84	6	7	9	0
R3	35	63	21	2	41	1	5	16	0
R4	30	88	20	2	67	0	7	10	3

訪問調査の依頼元は、「お口と栄養のアセスメントシート」の導入をきっかけに滝川市地域包括支援センターからの依頼が主となっている。その他は介護予防係のいきいき百歳体操の地区担当者から1件と特定健診・がん検診結果説明会の参加者が後期高齢者歯科検診につながり、その後訪問で状況を確認し支援することになった方が2件であった。

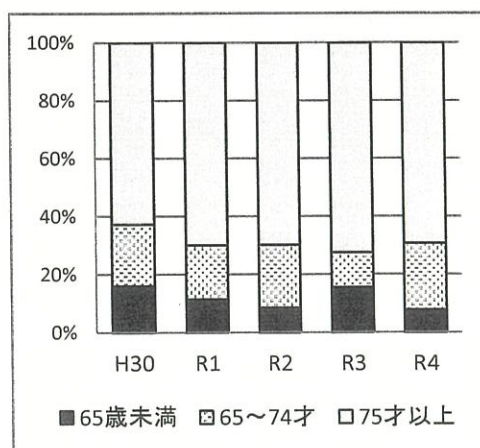
今後も他職種・関係機関との連携や各事業後のフォローをより丁寧に行い、口腔トラブルとフレイルへの早期発見・早期介入をしていく。

コロナ禍で継続訪問を控えて欲しいという方には最低年1回、本人・家族・ケアマネジャーに連絡し状況確認を行っている。

(2) 年齢内訳

(単位:人)

年度	総数		65歳未満		65～74才		75才以上	
	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数
30	48	137	9	22	5	29	34	86
R1	41	122	7	14	7	23	27	85
R2	33	106	4	9	6	23	23	74
R3	35	63	3	9	4	7	28	47
R4	30	88	3	6	7	18	20	64



(3) 要介護度内訳

(単位:人)

年度	非該当		要支援1		要支援2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5	
	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数
R2	3	9	4	5	6	15	4	16	6	15	6	34	2	8	1	3
R3	2	4	9	9	9	19	5	14	4	5	4	7	2	5	0	0
R4	4	8	5	14	10	28	5	20	3	7	2	7	1	4	0	0

実際に訪問へ行くと、要介護度が軽度なほど本人の困り感がなく、継続した支援につなげることが難しい。本人やケアマネジャーが「食べれている」という判断であっても、実際は口腔機能面に問題があり軟らかいものや食べられるものを食べていたり、あまり噛まずに飲み込んでいることも多く、本人やケアマネジャーとDH間で「できている」の認識の差を感じる。

食事は毎日の習慣であり、偏った食事になっていたとしても、本人や家族は自覚することがなく、「困っていません」と言われるとケアマネジャーも疑問に思わずつながらないことが多い。

低栄養を予防しオーラルフレイル・誤嚥性肺炎を予防していくためには、口腔アセスメントを的確に伝え、本人や家族と信頼関係を築きながら継続的に支援していくことが必要と考える。

2) 障害者歯科健診・歯科相談実施結果

(1) 参加状況

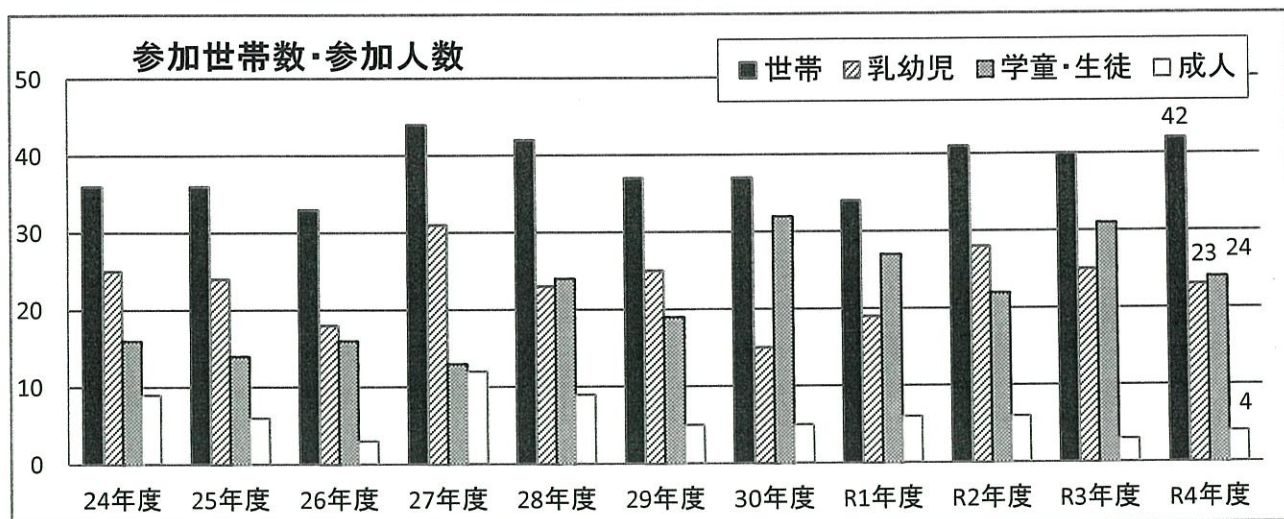
(単位：人)

	実施日	参加数	乳幼児	学童・生徒	成人	フッ素塗布数	サホライド塗布数	
							(人)	(本数)
1回目	6月25日	29	10	16	3	26	1	4
2回目	11月26日	22	13	8	1	20	1	1

(2) 年度別参加状況、担当歯科医

(単位：人)

年度	総数	世帯	乳幼児	学童・生徒	成人	担当歯科医	
						6月	12月
30	52	37	15	32	5	中村、原岡	中村、浅野
R1	52	34	19	27	6	中村、河村	中村、薄井
R2	56	41	28	22	6	中村、原岡	中村、薄井
R3	59	40	25	31	3	中村、原岡	中村、南
R4	51	42	23	24	4	原岡、越中	中村、薄井



・今年度の参加者は42世帯51人であった。

今年度も新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、完全予約で30分に4人前後とし、なるべく待ち時間ができないように工夫して実施した。1階対応の車椅子の方は6月は参加できたが、11月は感染拡大の影響でヘルパー利用ができなくなり、訪問で口腔ケアの状況等を確認した。

・検診会場は2階だが階段で昇降するため、車椅子の方は1階で対応している。

1階は場所が限られており、1階対応が必要な方は時間差で予約を入れ、先に来所した方の口腔衛生状況の確認や清掃支援を歯科衛生士が行った後、担当歯科医師に1階へ降りてもらい歯科健診を実施。次の時間の方は先に歯科健診を実施して、その後歯科衛生士が対応するという流れで実施している。1階対応の方が増加した場合、場所や歯科医や歯科衛生士が1階に下りている間の対応について、今後検討が必要と考える。